

事業報告書

1 支援団体名	東彼杵清流会
2 事業名称	日本一美しい東彼杵町の水辺に寄り添う塾
3 実施日時	2014年7月31日～8月4日、11月24日
4 実施場所	東彼杵町の河川等（彼杵川、千綿川、千綿小学校、東彼杵町総合会館）
5 事業目的、内容及びその効果	（事業実施状況・内容）＊できるだけ詳細に 8月2日に千綿小学校および彼杵小学校の4年生の児童と千綿川ならびに彼杵川にて川の体験学習教室を行う予定であったが、悪天候のため、河川でのシュノーケリング教室は安全面から中止した。 代わりに平成26年7月31日～8月4日にかけて筑波大学が河川研究を兼ねて東彼杵町を訪問していた国土交通省職員や筑波大学学生による千綿小学校体育館での河川安全教室を行った。安全教室では国土交通省職員による河川生物講座、筑波大学学生によるライフジャケット講座、千綿川に関するクイズ教室を行った。また滞在期間中、筑波大学の学生に本会会員がシュノーケリング教室や魚道の改良検討調査を一緒に行った。また、川の啓発活動の一環で講習を受けた子供達に缶バッジを子供達に配布した。 その後、11月24日に当町を再訪問した筑波大学学生が夏の調査結果をもとに川を活かしたまちづくり提案を「水辺からのまちおこし広場」で発表を行い町長に提案した。（80名参加）。 （事業実施効果） 一連の行事の実施にあたり町役場、町の住民、町外の関係者などが一緒に活動を行うことで連携が生まれ、水辺からのまちおこしに弾みつき、町の活性化に大いに役立った。また、当町が目指している「最も日本一美しい村連合」への登録にむけて町の水辺の価値を再発見することにつながった。
6 参加内訳	総人数 160名
	（1）主催者参加 10名
	（2）日本人参加（（1）を除く） 150名
	（3）外国人参加（（1）を除く） 0名
7 今後の方針	① 水辺からのまちおこしのムーブメントの広がりの充実 ② 日本一美しい村連合の登録に向けた水辺の価値の再発見活動の展開 ③ 筑波大学の河川の研究室と連携した利水板付属装置の製作・実用化

千綿川の生き物教室



川の安全体験（屋内プログラム）



大学生へのシュノーケリング教室



魚道改良実証実験（筑波大学と共同）



水辺からのまちおこし広場（町長へ提案）



東彼杵町長からの感謝状授与式

